

2015 防災ウォッチ～身近な自然災害を見つけよう～

2015 防災ウォッチ～おうち妖怪を見つけよう～

私たちは正しい防災知識を身に付け、地域の人の防災意識を高めることを目的として、子どもたちも楽しめる実践を意識した防災イベントを企画しました。

●防災ウォッチ

～身近な自然災害を見つけよう～●

(日時) 2015年 8月 9日 (日)

(場所) 学文公民館 (鳴尾地区)

(参加者) 小学1～6年生 (17名)

(学生スタッフ) 6名

1回目は地震時の津波の被害に焦点を当て、屋外での防災イベントを実施しました。西宮市内でも特に津波の被害が予測される鳴尾地区を対象としました。



最初に、みんなが打ち解けられるように防災を兼ねた仲間探しゲームをしました。恥ずかしがっている子もいましたがすぐに打ち解けてくれました。みんなで自己紹介をした後、どんな家に住んでいるか、避難出口の場所を知っているかなどを話しあいました。



次に地震や津波についての勉強をしました。みんな真剣に聞いてくれて、たくさん質問もしてくれました。



子どもたちに自然災害について、分かりやすく伝えるため、災害時に危険なものや頼りになるものを妖怪に見立てたキャラクターを作成しました。このオリジナル妖怪をまとめた妖怪図鑑を子どもたちに配布す

ると、みんな興味津々で読んでくれてとても嬉しかったです。

体を動かしながらクイズにも挑戦しました！みんな元気に動いてくれてたくさんパワーをいただきました。お昼休憩ではみんなでお弁当を食べながらクイズでゲットした妖怪シールをみんなで見せあっていました。また、私たちが作った妖怪を可愛いと言って真似して書いてくれる子もいました。



午後は外に出る前に「落ちた落ちたゲーム」をしました。午前中に紹介したオリジナル妖怪を用いながら、実際に災害が起こったときにとるべき行動を確認しました。これはとても盛り上がりました！



妖怪図鑑とマップを持って外に出て、実際に妖怪探しをしました。天気にも恵まれた猛暑の中、みんな元気に妖怪を探してくれました！部屋に帰った後は、屋外にどんな妖怪がいたか答え合わせをして、正解版のマップを作成しました。実際に町を歩くことで、町の危険な場所や津波から逃げる場所を自分の目で確認できるよい機会となりました。



●防災ウォッチ

～おうち妖怪をみつけよう～●

(日時) 2015年 12月 19日 (土)

(場所) 神戸女学院大学 S-19・ケンウッド館

(参加者) 小学1～6年生 24名

(学生スタッフ) 6名

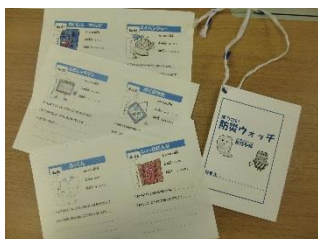
2回目は地震時の火災に焦点を当て、屋内での防災イベントを実施しました。大学構内の宿泊施設であるケンウッド館にて、災害が起きたときの室内でのとるべき行動についての体験学習を行いました。



はじめに自己紹介もかねて、「妖怪狩りにいこうよゲーム」をしました。1回目のイベントにも登場したオリジナルの妖怪を使い、楽しみながら覚えてもらいました。地震についての勉強をしたあとは、ディスカッションの時間をとり、地震が起きた際に自分がどこにいる可能性があるのかを考えてもらいました。屋外と屋内のそれぞれで、地震が起こったらどう行動するべきか班で話し合いました。



さらに、前回のイベントに引き続き用意した妖怪を紹介しました。今回は屋内での被災を想定し、地震によって上から落ちてくる可能性があるものを「たいあたり妖怪」、火災を引き起こす原因となるものを「メラメラ妖怪」、地震が起こったときに役に立つものを「おたすけ妖怪」という3種類に分類して作成しました。



お昼ごはんを食べた後は、いよいよケンウッド館に移動しました。妖怪探しと題して、危険なものや安全な場所を各班ごとに探してもらいながら館内の危険な箇所にあらかじめ用意しておいたクイズを解いてもらい、楽しみながら学習を進めました。



振り返りとして最後に妖怪をつかったペープサートを行い、知識の定着を図りました。子どもたちも真剣な顔で聞いてくれていました。最後には子どもたち自らが作成したオリジナル妖怪の発表もありました。



私たちの最終目標は防災意識を高めてもらうことです。今回、妖怪という子供たちに親しみやすいキャラクターを使って地震についての怖さ、地震が起きる前に何をすればよいのかなどをたくさん学んでもらいました。このイベントで学んだことをお母さんやお父さん、周りの友達にも共有して1人でも多くの人が防災意識を高めてくれることを願っています。

